



鉄道高架化通信



第45号

令和6年9月発行
発行：豊田市建設部街路課

～教えて現場監督さん（矢作建設工業(株)編）～

地域との交流について

矢作建設工業(株)が工事を担当する若林駅付近から豊田市駅方にかけては、高架構造物の構築が最盛期を迎えています。

沿線にお住いの皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。



若林1号踏切付近の高架構造物構築の様子



Q1：若林1号踏切付近に設置されている画面は何ですか。

A1：デジタルサイネージと言い、地域とのコミュニケーションツールのひとつとして活用しています。工事情報や交通規制の案内、さらに天気予報などを表示し、通行される地域の皆様や駅利用者の皆様へ情報提供しています。鉄道高架化通信も掲載し、地域の皆様との交流を大切にし、工事を進めています。



Q2：地域との交流の観点で他にどのような取り組みを行っていますか。

A2：本事業の現場においては、2週間に1回、沿線の皆様に工事予定のチラシをお渡ししています。合わせて、市から回覧される鉄道高架化通信もお渡しし、情報が沿線の皆様の手元に残るように努めています。

鉄道関係では、当社保有の「鉄道技術研修センター」で小中学生向けの職場体験や講習会などを行っています。



デジタルサイネージ

※知立駅や太田川駅など経験豊富な矢作建設工業(株)の現場監督さんには、今後、工事についても教えていただく予定です。

ちょっと途中下車

～地域の礎を築いた生命の源「逢妻男川」～

若林交流館の入口の水槽に逢妻男川に生息する魚が展示されているのをご存じですか。実際に交流館の隣の逢妻男川で捕獲した皆様にも身近な魚で、地域のボランティアの皆様が定期的に水槽の掃除を行いながら、管理しているとのこと。春先から秋にかけては特に活発に泳いでいるように感じます。

若林地区の中心を南北に流れる逢妻男川は地域にとって象徴的な存在なのではないでしょうか。私たちも地図で場所を示す時は地域の皆様に位置関係が分かるよう、逢妻男川を表示するように努めています。

ふる里若林には、逢妻男川の話がよく掲載されており、平成14年11月号には、地域の皆様の手で駅周辺の堤防に植樹が行われたことが掲載されていました。この植樹から20年以上が経過し、今ではふる里の風景になっているのではないのでしょうか。

地域の方とお話ししていると、「昔はここに貯木場があった」といった興味深い話題もありました。下流の若園地区の皆様も含め、逢妻男川は昔から地域の皆様の生活の拠り所なのではないのでしょうか。

沿川の小中学校では、「おかをめぐりて逢妻の常に流れて休みなく清き姿を水にみて」（高岡中学校）、「清らかに逢妻川のせせらぎは絶ゆることなく一筋につとめてやまぬ」（若園小学校）と、校歌にもうたわれ親しまれています。

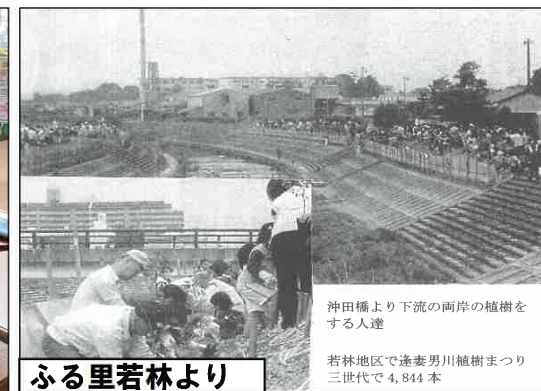
地域の皆様のお話を聞きながら、地域の礎を築いた逢妻男川の存在の大きさを改めて実感しました。



若林交流館玄関



逢妻男川



ふる里若林より

沖田橋より下流の両岸の植樹をする人達
若林地区で逢妻男川植樹まつり
三代目で4,844本

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

⑤ 仮線への切替
令和5年3月

⑥ 高架本体工事開始
令和5年5月

⑦ 高架本体への切替
令和8年3月予定

⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp